



広報 なぎじん

No. 81

1982年 8月

村章

(毎月1日発行)



▲宮崎少年の船が村の児童生徒と交流会

宮崎県内の小中学校生で構成する宮崎少年の船一行600人が7月24日村を訪れた。これは船海中の生活や、沖縄県の児童生徒との交流を通して、友情と信頼の輪を広げようというもの。午前9時からの交流会には一行の外、村の児童生徒約300人が参加し、余興や自己紹介などで交流を深めた。

今帰仁村の人口(昭和57年6月30日現在)

9,909人(+1)

()内は前月比



5,014人(-7)

4,895人(+8)

世帯数 2,791戸(-3)

編集発行：今帰仁村役場総務課秘書広報係
〒905-04 沖縄県今帰仁村字仲宗根219 電話098056-2101
印刷：沖縄高速印刷株式会社
南風原町字兼城577 電話0988-89-5513

今月の主な内容

- 二・三 好評開催中の村を考える懇談会
道路・排水整備に要望続出
- 四 実施された九カ字の要望をまとめてみました
古宇利原遺跡発掘の成果
遺構や土器・石器が出土
- 五 みんなで盛り上げよう
八月二日・三日の二日間
- 六 五五年国調から
村の世帯の人員構成は
村民コーナー私の一言
- 七 青春をいまぬこう
宇通川一七三三 神谷繁伸
- 八・九 五六年年度の国保税納付九三・五六％
病気の早期発見・早期治療で
保険税の負担軽減に努めましょう
- 十 首里王府の政策による影響
- 十一 今帰仁村の村落(字)変遷(上)
- 十二 リーダー研修会を開催
今治 仲宗根・湧川 天徳と子ども会結成
- 十三 母親と女教師の会開催
- 十四 年金証書の提出をお忘れなく
八月は定時雇の月です
- 十五 夜遊びはしない、させない、見逃さない
夏の青少年育成県民運動実施中

好評開催中の村を考える懇談会

道路・排水整備に要望続出

実施された9カ字の要望をまとめてみました

村では、七月一日から「村を考える懇談会」を実施しています。これは、行政を預る村長始め三役、各課長と村民がひざを交え意見交流することによって、明るい住みよい村づくりに役立てようというものです。

懇談会は、七月十八日まで、今泊、仲尾次、平敷、越地、謝名、仲宗根、呉我山、湧川、勢理客の九カ字が実施されました。各字からの要望には、実現できるもの、できないもの、予算を伴うため早急に解決できないものなど、まだまだ検討すべき多くの難問が山積されていますが、字の抱えている問題を村も共通認識したことから、大きな成果をあげたものと思います。

今月号では、今泊から勢理客までの懇談会で出された要望と村の回答について紹介したいと思います。なお、要望については、他の字と重複するもの、また紙面構成上割愛させていただいたものもありますので、ご了承をお願いいたします。さらに残りの十カ字の要望については、次号で紹介いたします。

今泊

※村道及び農道の改良・舗装の要請

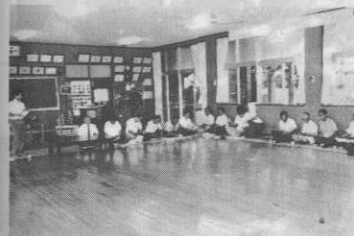
○モデル事業で計画しているのは計画どおり実施。舗装については集落内から実施したい。路面の補修については定期的にやっており、村の重機でできる範囲は今後もやっていきたい。

※区民運動場を字の中心地に作ってほしい

○自力建設でやってもらいたい。○仲原牧場の護岸

○農林土木サイド及び建設サイドで充分検討していきたい。

※村営住宅を今泊に建設してほしい



▲字今泊懇談会風景

平敷

※水源を有する字への見返り金について

○村内で一カ所だけ取水しているものであれば検討しなければならぬが、数カ所から取水しているため、村の財源では難しい。

水利権については地元にあるが飲水を有先し、畑地かんがい利用についてはその後を考えたい。

※ゲートボール場の建設について

○整地作業については、村のグレーター、シャボを無償で貸与して



▲字越地懇談会風景

越地

※グラウンド前から海辺までの道路整備計画について

○村道一級二級から整備を推進している。当該道路はその他路線になっており、一級二級を整備してから推進したい。

※今小周辺の違法駐車を改善してもらいたい

○村による駐車禁止の標識をたてていきたい。

謝名

※謝名玉城線の整備について

○五十九年度までに完了予定。排水路については、道路整備と一緒にやっていきたい。

※畑地かんがいの導入について

○謝名地区として組合を設立し、申請してもらいたい。

※診療所の運営について

○現在、光武病院が歯科医を配置し診療している。一般診療については、医師の確保について交渉中。

※老人ホームの建設について

○村内で計画はあったが、北部には施設が過剰になっている状態である。今後とも法人組織で建設できるよう努力したい。

仲宗根

※みなと原の農地裏に、チリ、家畜の死がいや不法投棄させないようにしてほしい。

○村で立看板を設置済。今後も定期的に見回って対策を講じた

い。○噴煙による蚊の防除をひんぱんにやってほしい。

○今後も要望どおり実施していきたい。

※公民館建設用地の敷地造成。

呉我山

※県道の整備について

○自力建設でやってもらいたい。村の重機で対応できるものは協力したい。

※特別塵芥処理費の免除要請

○他の字よりも約三倍の排出量があり、処理費については今後

も負担していただくようお願いしたい。

※水道料の振込制度と検針表の配布について

○振込制度については、農協、銀行とも話し合いをし、近い将来実施していきたい。



▲字民からも活発な意見が出された(字呉我山)

勢理客

※村名儀になっている字有地の返還について

○昭和五十年七月の議会において、各字有地の返還が議決され、村としてはその時に全部返還されたものと考えている。

※織物の育成について

○現在やる人が少いので補助事業で施設・指導等は受けられませんが、地場産業資金等の活用で推進を図りたい。

湧川

※県道本部循環線の落石防止について

○県に要請済

※排水路の整備については、土

懇談会実施日・参加者

月日	字名	参加(村役場)	参加(村)
7月1日	今泊	助役、厚生課長、住民課長、企画財政課長、税務課長、水道課長、経済課長、建設課長、農政係長、秘書広報係長	31人
7月6日	仲尾次	村長、税務課長、厚生課長、農政係長、秘書広報係長	50人
7月8日	平敷	助役、建設課長、水道課長、企画財政課長、総務課長、税務課長、住民課長、厚生課長、農政係長	55人
7月9日	越地	収入役、教育長、水道課長、税務課長、厚生課長、建設課長、住民課長、教育課長、農地主事、農政係長、秘書広報係長	35人
7月10日	謝名	村長、助役、収入役、企画財政課長、住民課長、厚生課長、税務課長、建設課長、農地主事、総務課長、農政係長	38人
7月12日	仲宗根	村長、助役、教育長、住民課長、厚生課長、水道課長、経済課長、建設課長、農政係長、秘書広報係長	20人
7月14日	呉我山	村長、助役、建設課長、水道課長、厚生課長、経済課長、教育課長、国保係長、農政係長、秘書広報係長	40人
7月15日	湧川	助役、建設課長、水道課長、住民課長、企画財政課長、教育課長、税務課長、農政係長、秘書広報係長	27人
7月17日	勢理客	助役、収入役、厚生課長、住民課長、教育課長、建設課長、企画財政課長、経済課長、農政係長、秘書広報係長	23人

みんなで盛りあげよう

第三回 今帰仁村まつり

8月21日(土)・22日(日)の2日間

第3回今帰仁村まつり日程

8月21日(土)

時間	行事	場所
1:00~3:00	開式	役場前
2:00~5:00	村内産業施設めぐり	村役場
3:00~6:00	闘牛大会	闘牛場
6:00~10:00	角力大会	角力場
8:00~10:30	ダンスの夕べ	中央公民館
1:00~5:00	総菜展即売会	野出おばけ屋敷
1:00~5:00	おばけ屋敷	野出おばけ屋敷

8月22日(日)

時間	行事	場所
9:00~12:00	村内産業施設めぐり	村役場
6:00~8:00	フォーク&腹話術の集い	中央公民館
6:30~8:00	盆おど大会	中央公民館
8:00~8:30	花火大会	中央公民館
8:30~10:00	素人のど自慢大会	中央公民館
9:00~5:00	総菜展即売会	野出おばけ屋敷
9:00~5:00	おばけ屋敷	野出おばけ屋敷



▲村役場ホールで熱戦が展開された卓球

○卓球(優勝) 湧川、準優勝 湧川、謝名越地)

○剣道(優勝) 両運天、準優勝 玉城呉我山)

○沖繩角力(優勝) 天底、準優勝 湧川、準優勝 湧川)

○江戸相撲(優勝) 天底、準優勝 湧川)

湧川が総合優勝

第三八回村球格大会開催

村体協主催による「第三八回村球格大会」が、七月十一日北山高校、今帰仁小、役場ホールで行われた。

大会は、スポーツ人口の拡大で融和を図り、明るい地域づくりに役立てようというもので、バレー、剣道を始め八種目に熱戦がくり広げられた。

その結果、総合の部で湧川が一昨年、昨年に続き優勝を飾った。

二位 天底、三位 仲宗根、四位 玉城呉我山、五位 謝名越地、六位 両運天の順位。

なお、種目別の成績は次のとおり。

○男子バレー(優勝) 今泊、準優勝 仲宗根)

○女子バレー(優勝) 湧川、準優勝 兼次諸志)

○男子バスケット(優勝) 仲宗根、準優勝 与那嶺仲尾次)

○庭球(優勝) 湧川、準優勝 天底)

古宇利原遺跡発掘の成果

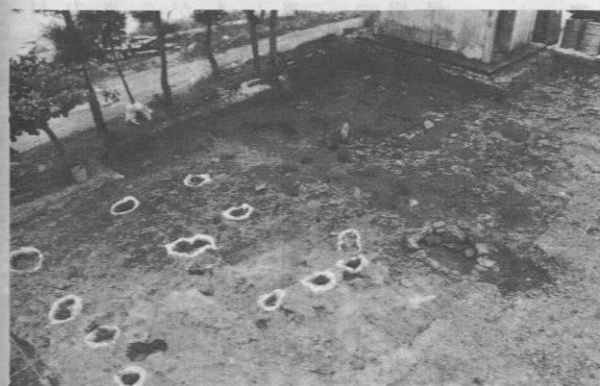
遺構や土器・石器が出土

古宇利原遺跡は、時代の異なる複合遺跡です。

一つは歴史時代のもので、遺構は三・五メートル×四・五メートル(約五坪)の長方形のもので、直径二〇センチメートル〜三〇センチメートル位の岩盤をくり抜いた掘立柱のものです。建物のすぐ近くに深さ七〇センチメートル、直径一・五メートル程の溜井戸も検出されました。また、建物遺構の中心部から柱穴が検出されています。この部分は中柱に該当するもので、柱穴内に根石が敷かれていることが明らかになっています。この建物遺構は最近まであった「アナヤ」(掘立小屋)と同じような形状をしています。アナヤがいつ頃から造られてきたかの資料(史料)を提供する貴重

古宇利原遺跡は、時代の異なる複合遺跡です。

一つは歴史時代のもので、遺構は三・五メートル×四・五メートル(約五坪)の長方形のもので、直径二〇センチメートル〜三〇センチメートル位の岩盤をくり抜いた掘立柱のものです。建物のすぐ近くに深さ七〇センチメートル、直径一・五メートル程の溜井戸も検出されました。また、建物遺構の中心部から柱穴が検出されています。この部分は中柱に該当するもので、柱穴内に根石が敷かれていることが明らかになっています。この建物遺構は最近まであった「アナヤ」(掘立小屋)と同じような形状をしています。アナヤがいつ頃から造られてきたかの資料(史料)を提供する貴重



▲遺構全景



▶検出された溜井戸



◀出土した骨錐・骨針

古宇利原遺跡は、時代の異なる複合遺跡です。

一つは歴史時代のもので、遺構は三・五メートル×四・五メートル(約五坪)の長方形のもので、直径二〇センチメートル〜三〇センチメートル位の岩盤をくり抜いた掘立柱のものです。建物のすぐ近くに深さ七〇センチメートル、直径一・五メートル程の溜井戸も検出されました。また、建物遺構の中心部から柱穴が検出されています。この部分は中柱に該当するもので、柱穴内に根石が敷かれていることが明らかになっています。この建物遺構は最近まであった「アナヤ」(掘立小屋)と同じような形状をしています。アナヤがいつ頃から造られてきたかの資料(史料)を提供する貴重

器、宇座浜式土器、室川式土器などです。またわずかではありませんが、「奄美系土器」や前期の特徴を示す伊波式土器や荻堂式土器も出土しています。

石器類では、加工を施す石斧や、木の実などをすりつぶしたりくだいたりする石皿、凹石、磨石などの調理用具が検出されています。利器は粘板岩を薄くはいでカミソリ状に刃を磨いたものや、動物の骨や魚の骨などを加工して造った針や錐、クジラの骨に刻文を施したものです。

装飾品としては、貝殻で造られた腕輪や動物の骨を素材とした加工品も多く検出されています。

今回の調査で出土した遺物は全て村教育委員会で管理・保存されています。古宇利島の皆さん及び村民の皆さんの見学をお待ちしています。なお、発掘調査に参加協力をいただいた方々は次の皆さんです。

○上原静(県文化課) ○玉城朝健(沖国大OB) 地元古宇利島より ○小浜清市 ○玉城善吉 ○比嘉愛子 ○玉城幸子 ○久場初美 ○金城ハナ ○古宇利順子 ○松田朝雄(今教育委)

55年国調から 村の世帯の人員構成は？



最近、核家族化が深刻な社会問題として、いろいろとりざたされたことがあります。核家族化は経済の発達に伴う第一次産業・社会構造の高度化と歩調を合わせて進行してきたように考えられます。大家族だったかつての時代では予期せぬ現象を次々派生させてきています。ここではこうした世帯の人員構成の状況についてみていきたいと思います。

昭和五十五年現在本村の普通世帯一世帯当り人員は三・五八人で県三・七一人より〇・一三人下回っています。これまで世帯数の変化より世帯員の減少が大きく、その結果一世帯当りの

人員は年々減少してきています。これを県内市部と郡部に分けて比較すると郡部の方が高い。しかし各郡、離島にふり分けてみると市部周辺で高く、市部から遠く離れている国頭郡、島尻郡の離島町村で低くなっています。過疎化、都市化と関連しているかと考えられます。

一世帯当り人員は県平均を割っています。本村の場合一世帯何人家族が多いでしょうか。I図でみると二人家族が最も多い。そのほかは世帯人員が増えるにつれて階段状に少なくなっています。六人以上世帯はわりと少く、五人までで全体の八一・九%を占めています。昭和四十五年と比較すると、五人世帯ま

で増加し六人以上では減少しています。しだいに大家族数が減ってきていることを示しています。対県、全国と対比してみると、本村が一・三人と七人以上で高い数値を示し、特に一人と二人で高いのが目立ちます。県が四・六人で高く、全国は三人と四人に集中しているのが特徴的です。これらのことから本村の場合、農村及び地方特有の大家族がまだ残っているほうですが、しかし人口流出によって世帯員が単数化し、又働き盛りの家庭持ちの層の世帯が少なくなっているかと推察されます。

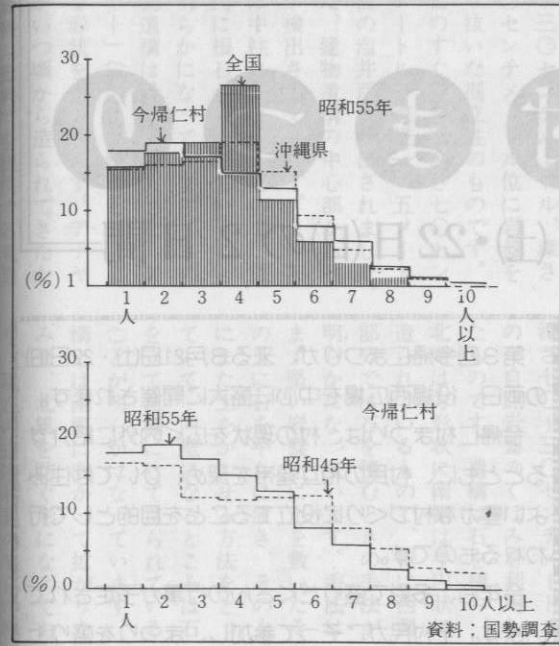
本村の核家族の割合はどうでしょうか。II図でおわかりのとおり核家族化が進行してきてい

ます。夫婦のみ、夫婦と子供、片親と子供世帯で構成する核家族が昭和四〇年五二・一%、五〇年五四・三%、五十五年五九・三%と徐々に増加してきています。しかしそれでも対県、全国と較べるとまだまだ割合が少ないほうではあります。

このように世帯構成をみてみると、本村は過疎化と核家族化が同時に進行してきているように見受けられます。現在のところ世帯員数にバラツキがみられますが、将来本村も県、全国と同様三〜四人の範囲に縮小化してくることが予想されます。

〈企画財政課統計係〉

I図 普通世帯の世帯人員別割合



II図 普通世帯の家族類型別割合

地域	核家族					非親族及び単独
	夫婦のみ	夫婦と子供	片親と子供	その他の親族		
今帰仁村	6.8%	33.0%	12.3%	33.7%	14.2%	昭和40年
	9.0	36.9	8.4	26.6	19.1	50年
	13.0	37.7	8.6	22.6	18.1	55年
沖縄県	9.5	46.5	9.9	18.6	15.5	55年
全国	13.1	44.2	6.0	20.7	15.8	55年

I表 市郡別普通世帯数及び世帯人員

地域	世帯数	世帯人員	1世帯当り人員	
今帰仁村	昭和40年	2,581	12,387	4.8
	昭和45年	2,501	10,454	4.2
	昭和50年	2,648	10,543	3.98
	昭和55年	2,661	9,518	3.58
昭和55年				
沖縄県	292,447	1,086,343	3.71	
市部	203,751	733,949	3.60	
郡部	88,696	352,394	3.97	
国頭郡	本島	16,246	57,614	3.55
	離島	1,517	5,021	3.31
中頭郡	28,995	120,781	4.17	
島尻郡	本島	27,788	117,281	4.22
	離島	5,623	18,966	3.37
宮古郡	6,707	27,422	4.09	
八重山郡	1,820	5,309	2.92	

資料：国勢調査



青春をいきぬこう

字湧川一七三

神谷繁伸
(北農定時制二年)

「ちくしょうノ高校がなんだ」「学問がなんだ」とやけになつて歩きまわっていた頃を思い出す。今ではこつぱいにさえ思われます。

中学校時代、私は勉強が嫌いで、ろくに勉強もしないまま高校に受験しました。結果は見事不合格。再度挑戦したものの、基礎学力の弱い私は、またもや不合格です。「もうどうにでもなれ」と、父母の農業を手伝いましたが、毎日がいやでどうしても落着けません。「いつそのこと名護へ出て新しい仕事を見つめよう。そして仕事に熱中することによって高校を忘れよう」と決心したのもその頃でした。

幸い、名護市内の電気店に勤めることができました。電気に



「将来や人生を語り合える真の友が欲しい。毎日毎日生きてきた生活をしてみたい」



ついては、小さい頃から興味がありましたので、さほど苦労はしません。が、電話やお客との対応にはとまどいを感じ逃げ出すこともあり。しかし好きでえらんだ仕事なので、やめたくない気持ちが強くて、電話や客の対応には自分から積極的に挑むようになりました。そのうち職場も楽しくなってきました。勿論仕事上のミスでどなられたりしていやなこともありましたが、そんな時には仕事が終わってから友達と一緒に酒を飲み気晴らしをする事もありました。酒や煙草を飲みながら友達と過ごすのは楽しいのですが、こういう事をくり返しているうちに、心のどこかでむなしさを感じるようになりました。

私のこの思いは切実でした。そして、酒、タバコをやめて熱中できるものはないかと考えた末、思いついたのが中学校時代にやっていた陸上でした。仕事を終えた後、グラウンドを走っていると「今、俺は青春を走っているんだ」という気持ちになり、生きがいを感じたのです。おかげで、友達もたくさんできたし本当に楽しい日々でした。ところが、仕事とスポーツで充実した人生を送っていると思っただけで、私はそれだけで満足することはできなくなりました。勉強がしたい。抑えることのできないこの欲望に、いつからともなく、私は独りで勉強を始めました。

ところが、独りだけの勉強には限界があったのです。本を読んでもわからない所が多く、やはり教えてもらう以外はないと考えました。そこで、忘れかけていた高等学校を四年ぶりに思い出したので。



スポーツ

私は中学校を卒業して、高校へ入ると軽い気持ちで受験を考えていましたが、職に就いて考えさせられたことは、人間は一生学問をしなければならぬという事でした。中学時代の同級生は、もう高校を卒業しています。彼らを見ていると、高校時代一生懸命学び活動していた人は社会に出ても頑張っています。中には何のために高校を卒業したのかわからない人もいます。高校は将来に備えるためよく学び、そしていろいろな活動に参加して青春の自分を鍛える所なのだと、う事を。

私は今北農定時制の二年生です。自分の好きな電気の仕事しながら学べるという事は何より嬉しい事です。入学して一年経ちましたが、その間は充実しています。授業も楽しいし、好きな陸上部にも入って水銀燈の下で放課後毎日走っています。その練習の成果があって、昨年行われた定時制陸上競技大会では、四百と八百ともに二位を獲得し、私の夢であった全国定



時制陸上競技大会へも出場できました。二十二歳の青春。今ここに走り続けています。これから三年間の高校生活に目標をたてました。いろいろな事に積極的に挑戦し自分を鍛えようと。皆さん、高校生活は自ら学ぶことによって築き上げていくものです。しっかりと目標を立て、意義深い高校生活にして行くようではありませんか。よりよき将来のために。

このコーナーは、村民の皆さんの日頃感じている意見発表の場です。村政に対する要望や家庭のこと、将来の希望など何でも結構です。村役場総務課秘書広報係までお寄せ下さい。

なお、ご意見は四百字以内、原稿用紙二枚程度で、住所、氏名、職業を添えて下さい。
※あて先
今帰仁村字仲宗根二一九
村役場総務課秘書広報係
(TEL: 二二〇一)

国保をささえる保険税

みなさんの医療費の7割を国保が負担しますが、その財源は、国庫負担とみなさんに納めてもらう保険税でまかなわれています。

被保険者の義務

保険税を納めていただかないと、国保制度は崩れてしまいます。

保険税を納めることは被保険者の義務です。期日までに必ず納めるようにしましょう。



国民健康保険は、ケガや病気の治療に要する不時の出費に対して、相互扶助により医療費を給付する医療保障制度です。財政は、国の補助金と被保険者の負担する保険税でまかなわれますが、多くの人が多額の医療費を使えば保険税としてはね返り被保険者の負担も大きくなることとなります。

昭和五十五年と五十六年度の村の一人当りの保険税と医療費をみると、保険税一万六千六百九十九円から二万一千二百八十五円と三二・四六％の大幅上昇となっており、医療費も六万二千二百四円から六万九千三百二十円と十一・四三％の上昇をみせています。このような医療費上昇の原因は、病院の施設の拡充整備や新しい医療技術の導入によるものと思われます。そのため、昭和五十六年度は医療費の上昇に歯止めをかけるために普段検診を受ける機会が少い方々にコンピュータドックを実施しましたが、好結果が生れ医療費抑制ができたと思っております。今後も継続実施いたします。

その他、集団検診や人間ドックを受け、病気の早期発見、早期治療をすることによって保険税の負担軽減に努めましょう。

昭和五十六年度の保険税の納付率は九三・五六％で、五十五年より一・三三％の伸びをみせました。そのうち、兼次、仲尾次、運天の三カ字は百％納付を達成しました。昭和五十七年度は全字が百％納付できるようがんばりましょう。

役場国民健康保険係では、個人事業、商業、農業等に従事して、普段検診を受ける機会が少ない方々に、簡易人間ドックと健康情報調査を実施します。

この調査は、医学、数学等の専門家による多年にわたる研究の結果開発された調査表から成り、世界でもっとも充実したものとされており、既に全国各

地で実施され、その高い信頼性が実証されております。

この調査はあくまでも問診的なもので、決して健康診断ではありません。あなたの結果表は個人の秘密を保持する立場から親展にて密封したまま本人にお渡しすることになっております。

まず自分の健康状態を知ることが発病予防にもなり、早期検診、早期発見、早期治療もでき、年

々上昇する医療費、保険税等の歯止めにもなります。対象者はもれなく調査に回答いただくようご協力をお願いします。費用は全額国保会計が負担します。

○対象者—六一歳—三六歳の世帯主夫婦

○記入方法—あてはまるものだけに○をつける方法

なお、調査票は各区長より配布されますので、なるべく早く回答し区長に届けるようにしてください。くわしいことにつきましては村役場住民課国民健康保険係までどうぞ。

医療費・保険税の歯止に一役

昭和56年度 国民健康保険税収納状況、療費の給付状況

字名	世帯数	被保険者数	保	
			調定額	収納額
今泊	226	696	13,370,940	12,508,730
兼次	63	211	4,527,300	4,527,300
諸志	86	271	5,175,330	4,761,410
与那嶺	87	227	5,092,920	5,060,870
仲尾次	52	163	4,085,020	4,085,020
崎山	66	226	4,772,780	4,713,380
平敷	77	246	5,483,100	5,163,750
越地	64	222	4,631,380	4,472,660
謝名	104	338	7,662,880	7,297,900
仲宗根	258	852	20,271,560	18,005,710
玉城	88	301	5,979,720	5,433,820
呉我山	53	172	3,859,270	3,710,080
湧川	205	743	15,037,610	14,066,020
天底	128	489	9,936,310	8,747,120
勢理客	40	144	2,721,390	2,579,090
渡喜仁	83	319	6,850,690	6,416,690
上運天	78	230	5,377,810	5,356,080
運天	89	258	5,732,620	5,732,620
古宇利	107	389	7,724,140	6,750,790
合計	1,954	6,497	138,292,770	129,389,040

56年度の国民健康保険税納付率 93.56% (前年度に比べ1.32%の伸び)

病気の早期発見・早期治療で 保険税の負担軽減に努めましょう



税		療養の給付				1人当り医療費率		
未収額	徴収率	1世帯当り調定	1人当り調定	利用件数	総医療費		1世帯当り医療費	1人当り医療費
862,210	93.55%	59,163	19,211	3,024	38,438,126	170,080	55,227	2.87
0	100.00	71,862	21,456	943	16,722,898	265,443	79,255	3.69
413,920	92.00	60,178	19,097	1,191	14,740,420	171,400	54,393	2.84
32,050	99.37	58,539	22,436	1,178	18,043,612	207,398	79,487	3.54
0	100.00	78,558	25,061	925	13,994,006	269,116	85,853	3.42
59,400	98.76	72,315	21,118	1,158	15,737,544	238,448	69,635	3.29
319,350	94.18	71,209	22,289	1,010	10,513,916	136,544	42,739	1.91
158,720	96.57	72,365	20,862	966	17,123,736	267,558	77,134	3.69
364,980	95.24	73,682	22,671	1,488	31,490,216	302,790	93,166	4.10
2,265,850	88.82	78,572	23,792	3,488	47,753,191	185,090	56,048	2.35
545,900	90.87	67,951	19,866	1,502	22,854,874	259,714	75,930	3.82
149,190	96.13	72,816	22,437	644	6,712,350	126,648	39,025	1.73
971,590	93.54	73,357	20,239	3,080	64,471,108	314,493	86,771	4.28
1,189,190	88.03	77,627	20,319	2,126	29,307,946	228,968	59,934	2.94
142,300	94.77	68,035	18,897	686	9,045,058	226,126	62,813	3.32
434,000	93.66	82,538	21,475	1,288	17,080,200	205,786	53,543	2.49
21,730	99.60	68,946	23,382	1,277	23,534,270	301,721	102,323	4.37
0	100.00	64,411	22,219	1,346	20,827,110	234,012	80,725	3.63
973,350	87.40	72,188	19,856	1,712	31,984,496	298,920	82,222	4.14
8,903,730	93.56	70,774	21,285	29,032	450,375,077	230,489	69,320	3.25

首里王府の政策による影響

今帰仁村の村落(字)変遷(上)

「おもろ」[辞令書] (-1607)	琉球国高究帳 (1635-48)	琉球国由来記 (1713)	中山伝信録 (1721)	琉球国旧記 (1731)	琉球一件帳 (1830)	駅選賃地録掛調査 (1877)	旧慣地方制度 (1893)	現在 (1982)
(みやきせん)	今帰仁	今帰仁	今帰仁	今帰仁	今帰仁	今帰仁	今帰仁	今泊
しよきた(はる)	志ゆき田	志喜田	志喜田	志喜田	志喜田	志喜田	志喜田	兼次
よなみね	よなみね	与那嶺	与那嶺	与那嶺	与那嶺	与那嶺	与那嶺	諸志
中くすく	中城	中城	中城	中城	中城	中城	中城	仲尾次
山敷名	山敷名	山敷名	山敷名	山敷名	山敷名	山敷名	山敷名	山敷名
玉城	玉城	玉城	玉城	玉城	玉城	玉城	玉城	玉城
天底	天底	天底	天底	天底	天底	天底	天底	天底
勢理客	勢理客	勢理客	勢理客	勢理客	勢理客	勢理客	勢理客	勢理客
上運天	上運天	上運天	上運天	上運天	上運天	上運天	上運天	上運天
運天	運天	運天	運天	運天	運天	運天	運天	運天
村落の数	14	20	11	20	21	21	21	19

はじめに

わが今帰仁村は、本部半島の北東部に位置し、砂糖きびの生産を主とした純農村地域である。村(ソンの)南方には、乙羽山を枢要として東西に走る山の嶺々が、ゆるやかな曲線を描き出している。自然が造り出した山並に、村民の心意気・寛容さが象徴されているかのごとく映る。永年、緑濃い乙羽山を中心とした山々に育まれてきた村内に、現在十九の村落(字)がある。それらの村落は、自然発生の集落から、移動・新設・分離・合併などの変遷を辿ってきた。なかには、村落の自立的変遷もあつたであろう。それ以上に、首里王府の政策による波紋が村落の変遷に大きく影響を及ぼしている。

おもろ・辞令書

古琉球といわれる島津侵入(一六〇九年)以前に、今帰仁間切の村落名が出てくる文献に、「おもろさうし」と、首里王府発給の「辞令書」がある。沖縄最古の歌謡集といわれている「おもろさうし」に、今帰仁間切名を「みやきせん」とうたわれている。「みやきせん」が、村落の今帰仁村(ムラ)をさすものではないが、「みやきせん」をうたった「おもろ」を、「恩納より上のおもろ御さうし」から一例ひいておこう。

一 きこへ、みやきせんに、やせの、はなさきに、よれば、すて、よむ、いきのかず
又 とよむ、みやきせんに (十七卷二五)

今帰仁間切の村落名がうたわれているものは、「いろいろのゑさおもろ御さうし」にある。
一 せりかくの、のろの、あけしの、のろの、あまくれ、おろちへ、よるい、ぬらちへ
又 うむてん、つけて、こみなと、つけて

又 かつおたけ、さがる、あまくれ、おろちへ、よるい、ぬらちへ
又 やまとの、いくさ (十四卷四六)

この「おもろ」には、「せりかく」「うむてん」の村落名がうたわれており、現在の「勢理客」「運天」に結びつくものであろう。

- (イ) 浦崎目差宛辞令書 (一五八六年)
- (ロ) 玉城の大屋子宛辞令書 (一五九三年)
- (ハ) 辺地目差職叙任辞令書 (一六〇四年)
- (ニ) 中城ノ口職叙任辞令書 (一六〇五年)
- (ホ) 具志川ノ口職叙任辞令書 (一六〇七年)

(イ) 内の浦崎・辺地・具志川の「辞令書」は、いずれも「みやきせんまきり」の書き出しではじまる。本部間切(伊野波間切)が、今帰仁間切から分割(一六六六年)される以前の「辞令書」である。そのため、ここでは三「辞令書」は除いて(ロ)(二)の「辞令書」をみることにする。

にする。

(ロ)玉城の大屋子宛辞令書

しよりの御み事
みやきせんまきりの
よなみねのさとぬしところ
六かりやたに四九まし
しよきたはる又もくろちか
わはるともに
一 百四十ぬきちはたけ七おほそ
やたうはる又ひらのねはる
又はなはる又さきはる又な
かさこはる又おほはるとも
よなみねの四十五ぬき
かないの大おきてともに
一人たまくすくの太やこに
たまわり申(候)
しよりよりたまくすくの太やこ
(か)方へまいる
万曆二十年十月三日

(二)中城ノ口職叙任辞令書

しよりの御み事
みやきせんまきりの
中くすくのろハ
もとののろのくわ
一人もうしに
たまわり申候
しよりよりまうしか方まいる
万曆三十三年九月十八日

これら二つの「辞令書」に、間切名の「みやきせん」があり、村落名は「よなみね」「たまく

すく」「中くすく」がある。ハル名も記されており、「はなはる」「さきはる」は、現存するハル名と一致する。また、「しよきたはる」は、諸喜田村と結びつくものであろうか。

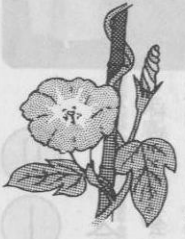
「おもろ」と「辞令書」に出てくる村落名をみてきたが、「せりかく」「うむてん」「よなみね」「中くすく」と断片的に出てくる。それだけで今帰仁間切の村落の概要を把握することは困難である。

「おもろ」・「辞令書」の発給された時代は、数カ村の名を知らることができにすぎない。しかし、そのいずれも現在に結びつく村落であり、「琉球国高究帳」・「琉球国由来記」に出てくる村落は、すでにこの時代には形成されていたとみるべきであらう。

註①「辞令書」名は、高良倉吉

氏の「沖縄歴史論序説」「古代琉球辞令書とその形式」(古琉球辞令書一覽)によるものである。

村文化財保存調査委員
仲原 弘 哲



若き後継者たち

和・洋菓子何でもござれ

たつみやの島袋三兄弟

女性にとってお菓子は永遠の恋人? 太り過ぎを気にしつつも、つい甘い誘惑に負けてしまふ方も多いのではないだろうか。今回は、ご存じお菓子の店「たつみ屋」を支える三兄弟の登場。たつみやは、島袋辰己さん(六一歳、字仲宗根二六二)が、三十五年前に現在地で開業。

以来、村内唯一の本格的な和洋菓子店として村民に親しまれている。数年前までは、辰己さんが中心となつて腕をふるっていたが、長男、次男、三男と後継者の出現で、今や隠居の身とか。長男の剛さん(三三歳)二男の健さん(二九歳)三男の辰也さん(二六歳)は、高校を卒業した後、いずれも東京の菓子専門学校に学んだ。そして東京の菓子会社での修業の後、今帰仁へUターン。剛さんが和洋菓子、健さんが洋菓子、辰也さんがパンを分担している。話しを伺っているうち、パンで四十種類、洋菓子で二十数種類もあると聞いてビックリ。しかも、種類によつて練りぐあい、



▶右から剛さん、健さん、辰也さん兄弟

て練りぐあい、

焼きぐあいが違つと聞いて二度ビックリさせられた。その日の温度、雰囲気によつてもできぐあいが違うというからまさに職人芸だ。三人とも「我々は技術屋だから毎日良い商品を作ろうと必死ですよ」と話してくれた。たつみ屋のパンとお菓子の人気の秘訣は、このように彼らの努力と高度な技術の成果なのだ。同店のおすすめ品は、チーズケーキ。売れ行きと味はナンバーワン。また、一メートルのウェディングケーキの注文にも応じている。毎日、学校給食用のパン千個を始め、洋・和菓子とも村内の需要に追われっぱなし。さらに、将来は近隣市町村へもシェアを伸ばしていきたいと大きな夢を持っている。従業員は外に職人が三人。また剛さんと辰也さんの奥さん(友子さん、幸子さん)も手伝っている。一人独身のハンサムな健さんは、現在お嫁さん募集中だ。年々、機械化・近代化が進んでいるものの、一番気を使うのが衛生面とか。観光土産用のお菓子も「試作品を検討中」ということで、今後の成果が期待される。三人共商工会青年部の会員として活躍。村まつりにも出品したいと話していた。



今帰仁連合分會婦人部による「昭和五十七年度母親と女教師の集い」が、七月十日(土)午後二時から今帰仁中学校視聴覚室で行われた。

これは、母親として女教師としての向上をめざし、ともに学習を深めよう—というもので母親と女教師三百人が参加した。開会、レクリエーションに続き、山内ミネ先生(青汁について)吉川文子先生(くらしと子育てについて)岸本ひさ先生

ともに学習を深めよう 母親と女教師の集い開催

「子どもの可能性を伸ばしてあげよう」の講演があり、参加者に深い感銘を与えていた。また質疑応答もあり、「子どもを学習させるにはどうしたらいいか」

「母親の役割について」など、熱心な討議が交わされた。なお、同婦人部では活動の一環として、毎年この大会を催している。

大井が中央大会に 北部支部少年野球大会で優勝

七月十八日から二十日までの三日間、野球連盟北部支部主催による「第十八回夏季北部支部少年野球大会」が、村営グラウンドで行われた。大会には村内、本部町から十二チームが出場し中央大会出場権をかけて好試合を展開した。

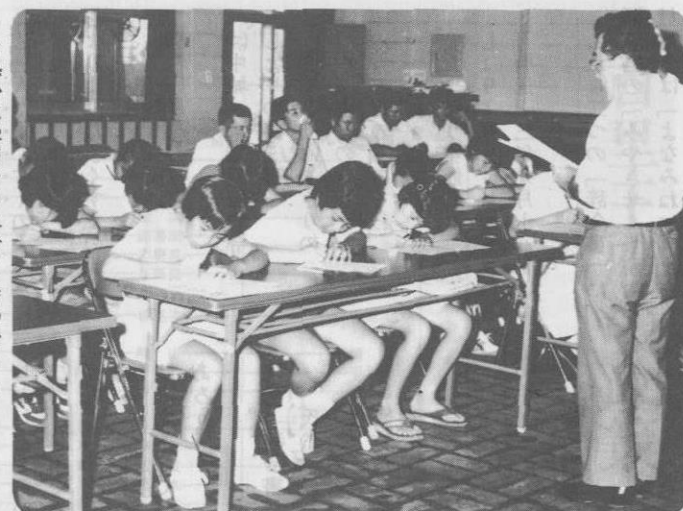
二十日の優勝戦には、大井と東(本部町)が進出。互いにしのぎを削ったが、はつらつプレーをみせた大井が、八対二で東を下し、七月二十日から行われる中央大会に出場することになった。

▲天底と越地の一戦

子ども会・育成会役員名

今泊			
子ども役員	育成会役員	住所	(TEL)
会長 新城滝子	会長 仲原正春	今泊3168	(3773)
副会長 金城幸栄	副会長 玉城世喜子	" 143	(3219)
書記 仲尾次清則	書会 玉城栄子	" 88	(3019)
会計 大城敦	指導員 新城満	" 191	(4156)
	" 上間美枝子	" 3084	(2582)
	" 大城健二	" 120	(3625)
	" 新城菊雄	" 969	(4058)
仲宗根			
会長 大城ひとみ	会長 三輪茂徳	仲宗根301	(2183)
副会長 新川博明	副会長 上地正	" 92-1	(5076)
" 島袋哲	" 安座間末	" 335	(5035)
書記 伊良波詔子	指導員 兼本明正	" 170	(3229)
会計 大城比奈子	" 喜屋武卓	" 212	(4361)
	" 宮城能明	" 255	(5151)
	" 田港朝祐	" 277	(2288)
	" 仲里邦夫	" 354	(2008)
	" 新川繁夫	" 171	(3710)
	" 島袋啓一	" 495	(4193)
	" 大城富子	" 494	(2023)
湧川			
会長 玉城みか	会長 知念孝俊	湧川1579-4	(2635)
副会長 安田智治	副会長 "	"	"
書記 玉城貴子	指導員 嘉陽早志	" 587	(4949)
会計 平良真紀	" 松田善明	" 379	(2154)
班長 神谷努	" 神谷正	" 2101	(2270)
" 神谷かおり	" 嘉陽宗芳	" 1769	(2475)
" 沢崎あけみ	" 嘉陽宗信	" 662	(4850)
天底			
会長 謝花文子	会長 宮城康吉	天底511	(3200)
副会長 与那司	副会長 "	"	"
" 久田直美	指導員 大城清喜	" 1306-16	(3797)
書記 大城咲	" 久田友清	" 490	(4827)
グループ長 久田江利子	" 久田友啓	" 521	(4498)
" 久田友敦	" 与那栄康	" 162	(2605)
" 運天祐子	" 謝花喜治	" 113	(2330)
"	" 大城淳良	" 309	(4861)

▶熱心に学習する子ども会の皆さん



リーダー研修会を開催

村教育委員会主催による「第一回子ども会リーダー研修会」が、七月十七日午後二時から中央公民館で行われました。研修会には、これまで子ども会が結成或いは結成が予定されている今泊、仲宗根、湧川、天底から約五十人の児童や父兄が参加し

今泊・仲宗根・湧川・天底で子ども会結成

講師には、仲地清雄名護青年の家所長、国頭教育事務所宮里博輝社会教育主事を迎え、「子ども会を、リーダーを中心とした活動にするために」二時間あまりにわたって、たっぷり学習を行いました。

子ども会は、子どもたちが自ら楽しい集団生活を通じて心身をきたえ、社会生活を営むための基本的態度や技術を身につけることを目的とした組織的、継続的団体。これまで、六月二十九日今泊、七月八日仲宗根、七月十六日湧川、そして七月にも

天底で結成されることになっています。さらに大人で構成する育成会も同時に結成されました。育成会は、子どもたちだけで子ども会をつくったり運営していくには荷が重すぎるということから、子ども会に理解を持ち、子どもの健やかな成長を願う大人が後ろだてとなって、物質的・精神的援助を行おうというもの。大城村教育長は「学校、社会、家庭教育が一つになって推進することに大きな意義があり、今後子ども会の結成に協力したい」と話していました。

遊休農地利用促進月間 8月1日~31日

遊休地をなくして 明るい豊かな農村を!

主唱 沖縄県・農業会議・今帰仁村・村農業委員会



▶会場一ぱいに集った母親と女教師

ママさんバレー

仲宗根チームが優勝 十四チームが参加しにぎわう



▲熱戦が展開されたママさんバレー大会

村婦人会(諸喜田スエ子会長、会員六五〇人)主催による「昭和五十七年度今帰仁村ママさんバレーボール大会」が、七月十八日午前九時より、八日午前九時より兼次中体育館で行われました。

大会は、婦人への親睦と体力の向上を図ろう—というもので、参加チームもこれまでにない十四チームが参加し、会場一ぱいの応援合戦と合わせて盛り上がりを見せました。

また開会式には大城村教育長、閉会式には松田村長、吉田県議もかけつけ、選手を激励していました。

開会式に続き、午前十時から次々と熱戦が行われました。特にベスト八での越地、今泊戦では、越地が二対十九で一セットを先取した後、二セット目も白熱したシーソーゲームを展開。二六対二四と、かろうじて越地

が連取し、会場を湧かせました。ベスト四には越地の外、仲宗根玉城、天底が進出。さらに決勝戦には仲宗根と玉城が勝ち進み

結局仲宗根が二対〇で勝ち、優勝を飾りました。

なお、大会運営には村体育指導員と兼中バレー部が協力しましたが、レベルが向上したこともあって、激しいジャッジで大会を引き締めていました。

年金証書の提出をお忘れなく

八月は定時届の月です

今月は福祉年金の定時届の月です。年金証書の提出をお忘れなく！

老令福祉年金、障害福祉年金、それに母子福祉年金を受けているみなさん、八月は定時届をする月です。

定時届というのは、毎年八月分の支払いを受けたあとに、年金証書を提出して審査をしてもらい、十一月分、来年の四月、八月分の金額を年金証書に打ちこんでもらうわけです。

払いが遅れるだけでなく、今後年金がもらえなくなる場合もあります。忘れないように、必ず年金証書を提出するようにしましょう。

進学は毎日奨学制度で 五八年度生受付中

毎日新聞社では、働きながら自分の力で進学できる毎日奨学制度を設けております。

この制度は、大学生、短大生、専門・各種学校生に、各コースの奨学生制度を適用し、必要な

◎ 八月分の支払いは十一月から八月分の支払いは、十一日から十七日まで今帰仁郵便局で支払いされます。支払日は年金証書の裏に書いてあるとおり、各字ごとに決まっていますので、決められた支払い日に郵便局へいくようにして下さい。

また、年金証書の提出は、午前九時から四時まで郵便局で回収をしますので、どなたも忘れないように提出して下さい。

適用地区は福岡、北九州、東京、大阪、愛知、札幌とその周辺です。現在、来年度の奨学生を募集しております。

高校三年生及び予備校生の方は、詳しいパンフレットを無料で送りますので、ハガキで左記にお申し込み下さい。

なお、お申し込みの際に氏名、住所の他に電話番号、在学、(出身校)、進学志望校を書き添えて下さい。

児童扶養手当・特別児童扶養手当の額が引き上げられます

57年9月から

児童扶養手当は、父と生計を共にしていない児童を養育する人(母または母以外の養育者)に支給される手当です。

また、特別児童扶養手当は、障害児を養育する人(父か母または父母以外の養育者)に支給される手当です。

この二つの手当の支給額が改定され、昭和57年9月分から増額されます。改定額は次のとおりです。

- 児童扶養手当
 - 養育児童1人の場合..... 3万1,200円 → 3万2,700円
 - 養育児童2人の場合..... 3万6,200円 → 3万7,700円
- 特別児童扶養手当
 - 1級障害児童の場合..... 3万6,000円 → 3万7,700円
 - 2級障害児童の場合..... 2万4,000円 → 2万5,100円

児童扶養手当現況届・特別児童手当所得状況届について
これは毎年1回すべての受給者が出す届です。受給者の方は8月11日～12日の2日間にわたり現況届、所得状況届を村役場厚生課へ提出して下さい。もし、この届を出さないと引き続いて受給資格があっても8月分以降の手当の支払いを受けることができません。くわしいことは各受給者に連絡いたします。



税の作文募集 高校生対象に

税務署では、高校生から税の作文を募集しています。税について日頃考えていることや意見など、税に関するものであれば何でも結構です。ふるって応募して下さい。

◇ 応募資格 高校生であること
◇ テーマ 税に関することであれば何でも(例)税金や税務署についての意見、税金につ

いて学校で教わったこと...
◇ 字数 一人一編とし、三千字以内、末尾に住所、氏名、性別、学校名、学年、学校の所在地を書いてください。
◇ 締切り 九月六日(日)までに税務署へお送りください。
◇ 表彰 優秀作十五編に国税庁長官賞、佳作には国税局長賞を贈呈します。

夜遊びは しない・させない・見逃さない

夏の青少年育成 県民運動実施中

夜遊びは「しない」「させない」「見逃さない」をスローガンに、夏の青少年育成県民運動が、七月一日から八月三十一日までの二カ月間にわたって実施

されています。夏は子ども達の心身を鍛練する絶好の季節です。反面、気候的、気分的に解放感に満ち、子ども達にとっては心身ともに不安定になりやすく、各種の問題が起きやすい時期です。

ツレシマス、スミマセンのあいさつを交わすオアシス運動を広げましょう。

四、外出する時は、行先を告げるようにしましょう。

新執行体制きまる ■ 村青年会

五七年度総会で役員を改選

六月三十日、午後八時から村役場ホールで行われた「村青年会五七年度総会」において、新役員と今年の運動方針が決定された。

村青年会では、今後組織の強化を図るとともに、時代に即した活動を展開していくことになっている。

し尿の処理は許可を受けた村内の業者に

し尿の不法投棄を防ぎ、適正な処理を行うため、し尿のくみ取りは認可を受けた業者に依頼するようにしましょう。

ご協力ください 毎月勤労統計調査 特別調査について

労働省では、七月三十一日現在で常用労働者一・二九人の事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施します。

村政功労者 糸数昌徳氏 逝去



村政功労者の糸数昌徳氏(字湧川五九四)は、病氣療養中でしたが、手あてのかわいなく七月二五日午前九時お亡くなりになりました。明治四十一年十月二

八日生まれで、享年七十四歳。氏は昭和二十九年から四十三年までの十四年間、村助役として奉職。その功績により、五十六年三月十九日、村政功労者として表彰されています。また、五十年発行の村史の編集副委員長として、さらに郷土史研究家としても活躍されました。氏の生前の御功績を讃えるとともに、謹んで御冥福をお祈りいたします。



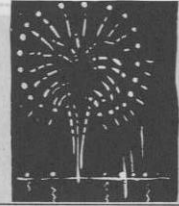
田清尊さん、副会長に大城辰夫さん、事務局長に名嘉山良英さん、会計に当山清則さん、書記に当山邦子さんが兼任された外、各部長がそれぞれ決定した。

調査対象地域 字湧川、字仲根
くわしくは村役場企画財政課統計係か、県の統計課人口社会係(〇九八八―六六一―〇五〇)へお問い合わせください。

なきじん版

8月1日～9月1日

村民カレンダー



8/1 日		17 火	
2 月	○村を考える懇談会 (14:00、兼次)	18 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
3 火	○村を考える懇談会 (14:00、崎山)	19 木	
4 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館) ○村を考える懇談会 (14:00、玉城)	20 金	○区長会 (14:00、役場ホール)
5 木	○区長会 (14:00、役場ホール)	21 土	○第3回今帰仁村まつり(開会式、闘牛大会、村内産業施設めぐり、角力大会、ダンスの夕べ、総合展示会) ○国頭郡球格技大会 (金武、宜野座、恩納)
6 金	○村を考える懇談会 (20:00、天底)	22 日	○第3回今帰仁村まつり (村内産業施設めぐり、腹話術 & フォークの集い、盆おどり、花火大会、素人のど自慢大会、総合展示会)
7 土	○国頭郡野球大会 (9:00、名護市営球場)	23 月	○今帰仁城跡第三次発掘調査の開始 (12月末まで)
8 日	○国頭郡野球大会 (9:00、名護市営球場)	24 火	○乳児相談 (13:00～15:00、役場ホール)
9 月	○村を考える懇談会 (14:00、古宇利)	25 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
10 火	○人権相談 (10:00、中央公民館) ○第3回今帰仁村まつり実行委員会(14:00、役場ホール)	26 木	○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場)
11 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)	27 金	○1歳半健診 (13:00～15:00、役場ホール)
12 木		28 土	
13 金	○成人相談 (13:00～16:00、平敷公民館)	29 日	
14 土		30 月	
15 日	○陸上選手権大会 (13:00、村営グラウンド 申し込12日まで)	31 火	
16 月	○成人相談 (13:30～16:00、諸志公民館)	9/1 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)

■ 広報八月盛夏号をお届けします。夏休みに入り、身も心も解放的になる季節。また、交通事故、水難事故も多くなる時期です。ドライブや水泳の行楽には、ルールを守る、無理をしない、など十分な対策をたてましょう。

■ 各字で開催されている「村を考える懇談会」も、先月で約三分の二を終了しました。これまでの要望では、圧倒的に道路・排水の整備、水道に関することが多いようです。また、人口減少の問題も深刻に論議されました。村ではこれらの要望・意見を軸に、今後望ましい村づくりを進めていくことにしています。

■ 二十四日には、宮崎県と村内の小中学校生が交換会を開催。お互いに初対面ながら、堂々と自己紹介をしている姿は、頬笑ましく力強いものがありました。

■ 今月は、お待ちかね第三回村まつりが行われます。まつりはみんなの為のもの。参加と協力で盛りあげを図りたいものです。

編集後記

